

市ビジョン】

府中DOKODEMO おともだち政策！

【30年後の理想像】

府中市民の全員が知り合いと言えるくらい市民間の交流が深い状態になる。緊急時に助け合えるような関係を市民間で築く。

重点政策①概要

どこでもドア作成

【政策の目的】

車を撤廃した時に出てくる、距離の弊害をどこでもドアで解決する。

【事業内容】

府中市に5台どこでもドアを設置する。
本当に「どこでも」というわけではなく、市内のどこでもドアから、違うどこでもドアの間だけ移動できるものとする。

【費用】

どこでもドア一台2億

5台設置するので2億×5 = 10

合計10億円

重点政策②概要

商業開発

【政策の目的】

車を撤廃したから、歩きたくなるような街づくりをしたい。

【事業内容】

地域ごとにテーマをつけてそれに沿った商店を作る。
街の中心部だけ栄えてるといふのを無くして街全体を歩いてもらえるように商店を置く。

【費用】

府中市に商店を2000店おいたとして、またお店一軒2000万と仮定して、
2000×2000万 = 40億
合計40億円

チーム名

須山議員事務所

ビジョン

DOKODEMO

おともだち政策（仮）

メンバー

松本香穂

藤田あおい

30年後の理想のまち

【ビジョンが示す理想の状態】。

車を撤廃し徒歩で移動するようになった事によって、市民同士でコミュニケーションしやすくなる。また、歩きたくなるような街づくり（例えば商店を増やす）をした事によって市が活性化する。

【なぜ上の理想を実現したいのか？】

市民同士が仲良くなる事によって、

- ・ 災害時に助け合うことができる。
- ・ 虐待、犯罪、孤独死防止につながる。
- ・ 車が無くなり、地球温暖化防止。

現実のまち

【ビジョンと現状のギャップ】

理想の社会は活気のある地域交流をする事だが現代は車社会になってしまいコミュニケーションを取るのが難しく、地域間の関わりが薄くなってしまっている。そこで私達は車を撤廃して移動手段を徒歩に切り替える事によってその問題を解決しようと考えた。そして第二の移動手段として「どこでもドア」を使用する。これは府中市内の長距離移動が車無しで可能だ。

あくまで「徒歩」を重視して市民間の関わりを深める。そう！これで市民みんなおともだち！！

【現状が維持された場合の社会の姿】

府中市は広いので車が必須になっている。そのせいで人との交流が無くなり、地域間の結束力が薄い。しかも車から出る排出ガスで地球温暖化にも繋がる。このような大きな問題は、自治体規模から考えるべきだと言える。

重点政策①詳細

政策の概要

【政策の目的】

車社会によって薄まってしまった地域の人たちの交流を復活させたい。市の団結力を高めて温かい街を作りたい。

【誰のための政策か】

府中市民全員

【政策を実施する主体】

市民主体

【政策を実施する期間】

どこでもドアが実用化してから永遠に。

政策名

DOKODEMOおともだち政策

政策の詳細

【事業内容】

* 政策を実行するための具体的方法

・車の使用を禁止して、市民の移動手段は徒歩、または自転車、車椅子のみとする。

・どこでもドアを開発する。ただし本当にどこでも一瞬でいけるわけではなくて、徒歩での移動が困難な長距離の時だけに市内限定で移動できるという決まりにする。どこでもドアは、市内に約6個設置する。（徒歩でいける距離を考えた結果の個数）どこでもドアは市民税でできているので無料。24時間営業。

【政策にかかる費用】

どこでもドア開発、設置費に一台、約2億円。5台建てるので
 $約2億 \times 5 = 10億$ 。

現在、府中のの商店街連合に46商店会加盟していて、一つの商店会に平均45店加盟しているので
 $46 \times 45 = 約2000店$

お店一軒の引っ越し費用が2000万だと仮定して
 $2000万 \times 2000軒 = 40億$ 。

合計、50億円。

【政策による影響への対策】

・車がなくなって、徒歩重視になるので、ベビーカーや車椅子の方が移動しやすくなるようにバリアフリーを徹底する。（階段を少なくするなど）

重点政策②詳細

政策名

DOKODEMOおともだち政策

政策の概要

【政策の目的】

車社会によって薄まってしまった地域の人たちの交流を復活させたい。市の団結力を高めて温かい街を作りたい。

【誰のための政策か】

府中市民全員

【政策を実施する主体】

市民主体

【政策を実施する期間】

どこでもドアが実用化してから永遠に。

政策の詳細

【事業内容】 *政策を実行するための具体的方法

歩きたくなるような街づくりをする。

府中市全体を楽しんでもらうために街ごとに個性を出す。

例えば、音楽好きに楽しんでもらえるような街、スポーツを楽しんでもらえるような街みたいに趣味をテーマに地域ごとに特色を出せば、共通の趣味の人との交流が取れるようになるし、世代関係なく楽しめる町が作れる。

街にイメージカラーをつけて、見てわかる変化をつけて歩いて楽しい街にする。

【政策にかかる費用】

上とおなじ

【政策による影響への対策】

上と同じ

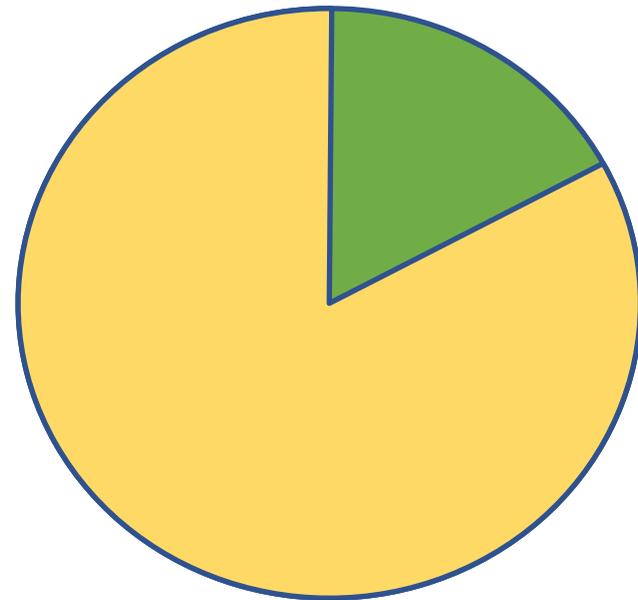
2029年の自治体予算

予算の算出の対策

歳入の部



歳出の部



【重点政策予算の捻出方法】

市民税、競馬・競艇などの競争事業からの繰り出し金

【現在の自治体予算からの変更点とその理由】

ゴミ収集を民営に委託して浮いた費用をこの政策に当てる。

理由は、ゴミ収集は民営でも可能で費用を会社持ちにすれば、市のお金が浮くから。

【予算面の変革に伴う対策】

競馬の利益から出る公共用特別会計からもうう。